

成果指標 検証票

施策名	2-(4)-ウ-⑥		水難事故対策の推進								
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R9年度	達成率	達成状況			
			R7	R8	R9						
			水難事故発生件数	件	94	114			77	-181.8%	達成は困難
						計画値					
			83	80	77						
担当部課名	県警本部地域部地域課										
達成状況の説明											
水難事故増加の主な要因は、入域観光客数が過去最高水準となり、沖縄の地理・潮流等に不慣れな観光客が海域レジャーを行う機会が増加したことが要因の一つとして考えられる。目標値83件に対し、実績値114件となったことから、達成は困難となった。											
要因分析											
類型	説明										
⑫ 社会経済情勢 (外部要因)	当県の入域観光客数が過去最高となったことに伴い、事業者を介さず海域レジャーを行う観光客等の増加も見込まれることから、海域レジャー提供者に対する立入調査に加え、観光客等に対する直接的な広報啓発・注意喚起を推進する。										
対応案											
当県の入域観光客数が過去最高を更新したことに伴い、観光客の水難事故が増加している現状があることから、海域レジャー提供者に対する立入調査を強化するとともに、インバウンドにも対応すべく複数の言語での水難事故防止に関する広報啓発を実施する。											
関連する主な取組											
施策番号	2-(4)-ウ-⑥	主な取組名	海域レジャー提供者に対する立入調査の強化			対応課	地域部地域課				
成果指標への 寄与の状況	海域レジャー提供者に対する立入調査により、安全管理体制、救命設備、利用者への事前説明、気象判断等の確認・指導が図られている。これにより、事業者の安全意識と事故防止措置が強化され、水難事故発生件数の抑制に寄与している。										
要因分析	水難事故発生件数の減少は、立入調査を通じて、海域レジャー提供者における安全管理上の不備が是正され、利用者への注意喚起や監視体制、救助体制が充実したことが要因と考えられる。また、危険海域や悪天候時の利用制限等が制限され、事故リスクの低減につながっている。										
対応案	今後も、観光シーズンや海域レジャー利用が増加する時期を重点に、海域レジャー提供者への立入調査を継続実施する。また、調査結果を踏まえた個別指導、関係機関との情報共有、利用者への安全啓発を推進し、水難事故の未然防止を図る。										
関連する主な取組											
施策番号	2-(4)-ウ-⑥	主な取組名	観光客への海の安全な利用に係る周知・啓発等			対応課	観光振興課				
成果指標への 寄与の状況	観光客に対して、多角的に水難事故の未然防止に係る周知・啓発等を行うことで、水難事故の未然防止に寄与している。										
要因分析	水難事故の未然防止に係る周知啓発の手段として、WEBリスティング広告、ジオターゲティング広告、クイズキャンペーン等を行っているが、令和7年度は多言語化を実施したことにより、ポータルサイト閲覧件数が前年度に比べ大幅に増加につながった。										
対応案	外国人観光客に対する水難事故の周知・啓発を旅マエの周知、旅ナカでの多言語対応による周知を行うことで、より沖縄の海を安全に楽しんでもらえるような取組を関係機関と連携し実行する。これにより、一層の水難事故の未然防止に努める。										